

(公社)法皇青年会議所交流誌

クロスロード

Vol.8

2017年3月号



2017年1月22日京都会議 国際会館にて

理事長挨拶

「今、この瞬間を真剣に生きよう」

ほんだ まさひこ
第21代理事長 **本田 将彦**



本年度、第21代公益社団法人法皇青年会議所理事長の職を預かりました本田将彦と申します。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。昨年度創立20周年を迎えて、四国中央市と地方創生に関する連携協定を締結しました。益々行政との繋がりも深まっておりますし、今法皇青年会議所は非常に勢いのある団体となっております。メンバーは今年63名スタートとなっております。愛媛県下では松山に次ぐ2番目の規模のLOMとなっております。全国的に人口減少、会員数減少が危ぶまれている中、非常に稀なケースですが年々メンバーが増加しているLOMとして他地域・他団体からも注目をされております。これもひとえに、法皇青年会議所の歴史を紡いできた先輩諸兄の想いと努力の賜物であります。このことを常に意識し、更に発展できるよう努めてまいります。地域的にも恵まれておりますが、青年会議所として、この地域産業へ貢献できるよう積極的に活動してまいります。

皆様ご存知の通り四国中央市の人口は現在約9万人ほどですが、2060年には5万人になるという推計がでております。日本全体でも人口減少が始まっており、これを止めることは不可能と言われておりますが、本年度、青年会議所ではこの不可能を可能へと変えるべく、人口減少問題に果敢にチャレンジしてまいります。具体的には独身者を対象にした出会いの場を提供することに力を入れます。また、昨年度実施した職業紹介事業を継続し子供たちに四国中央市にはどのような企業があるのかを知ってもらうと同時に興味をもってもらい将来的に若年層の人口流出の歯止めに貢献したいと考えております。

そして、会員拡大にも力を入れていきたいと考えております。全国的にメンバーの減少が続きどこの地域でも危機感と戦略を持って取り組みを行うように訓示されております。近年は女性メンバーが増えていることもあり、特に女性メンバーに入会いただくことで全体としても活気が出るのではないかと考えています。青年会議所は40歳までのまだまだ未熟な人間の成長の場としては非常に素晴らしい組織です。私自身がそうであったように自己成長を望む方であれば必ず何かしらのものを得られますし、入って損は一つもないと信じています。もし、少しでも興味ある方がいらっしゃいましたら、すぐにご説明に上がりますのでその際はお気軽に申し付けてください。

シニアクラブ会長挨拶

「拝啓 青年会議所の皆さま」

いしむら ひろし
シニアクラブ会長 石村 浩



本年度シニアクラブ会長の石村浩と申します。よろしくお願ひいたします。

愛国心と言うと右とか左とか言われますが、海外に憧れて出て行った方が最初に後悔すること。それは日本の事を知らなかった事。「もっと歴史や文化を勉強しておけばよかった」と聞きます。海外の方と食事をしていると、最初の話題振りとして「貴方の地域では?」「日本では?」と質問されます。そこからいろいろな話題に繋げていきますが、皆様それぞれに自分たちのことに誇りをもって話しています。

私が青年会議所に入った頃はイベントによるまちづくり後期時代。当時は「紙まつり」を青年会議所が主体的に関わっていました。「紙まつり」を通して行政・各種団体など青年会議所以外の方から色々と地域の事を教えてもらったりして、それなりに勉強するようになりました。直接労働も含めて苦勞の多かったイベントも、別の意味で役に立っていると思っています。また、青年会議所は出向というシステムがあります。他地域と比較して初めて地域の特色に気付くこともあります。是非出向して見聞を広めて人生の糧としていただくことを願っています。

シニアクラブは現役の援助と会員交流を主体に活動して参ります。この地域の人の輪は決して無駄にはなりません。気楽に参加して青年会議所の繋がりを大切にして欲しいと願っています。

委員長紹介

もっともっと伝えていく

広報委員会委員長 かじ あやこ 加地 彩子



本年度、広報委員会の委員長を務めます加地彩子と申します。2012年に入会し、今回が4回目の総務広報系の委員会の所属となります。このクロスロードもVOL.1からずっと携わっているため、こうして継続できていることをうれしく思います。

さて、総務広報といえば、ホームページや総会・卒業式の運営など例年通りの仕事が多く、事務方のイメージが強いですが、今年はもっともっと青年会議所の魅力を伝えていけるよう、もっともっと多くの市民に知ってもらえるよう、広報に力を入れていこうという意気込みのもと、「広報委員会」という名前に改めました。広報活動として、市民を対象とした出会い活性化事業「ハロウィン恋活」行う予定です。少しでも多くの人に法皇青年会議所を知ってもらえるような良い事業になるようにメンバー一丸となって只今熟考中です。また、3年目となるクロスロードはマンネリ化を防ぎSNSと差別化できるよう、そして、現役とシニアお互いをもっと関心を持てるような内容になればと模索し、今回はこのような形になりました。今後のためにもご意見ご感想などいただけたら幸いです。

最後に、まだまだ未熟者の私ですが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしく願いいたします。

共に学びを楽しもう!!

研修委員会委員長 ひたか まさや 飛鷹 昌也



本年度、研修委員会の委員長を務めます、飛鷹昌也と申します。2013年8月に入会し、入会から約4年が経ちます。

入会当初は、青年会議所とはどんな団体なのか？どんな活動をしているのかが、さっぱり分からず、ただ参加している感じでした。入会歴の浅い方や新入会員の方は、今まさにそのような感じで参加しているのではないのでしょうか？私自身も、まだまだ分からないことが多いです。何ごとも最初から分かるわけではありません。日々、学ぶことで理解し、そこからまた新たな発見があります。まず、参加することから始めましょう。

今年、研修委員会の委員長として、法皇青年会議所メンバーにとって学びの多い1年間にしたいと考えます。歴が長いとか、短いとか関係なく、皆さんで学べる事業をしていきます。その中で参加することの楽しさや、メンバー同士の友情を育ていき、法皇青年会議所全体のスキルアップになるよう、努めていきます。今年も、より多くの学びがある、研修委員会にしますので、どうぞ宜しくお願いします。

大きな「人の和」のために、

ふじた みちつぐ
会員拡大委員会委員長 **藤田 満胤**



本年度、会員拡大委員会の委員長を務めます藤田満胤(みちつぐ)と
います。法皇青年会議所に所属して3年が経ちました。大事な会員拡大
委員会に配属になり不安があります。しかし、周りを見渡してみれば、優秀な
先輩たちがいることに気付きました。その先輩達含め同期、その後に入ってくる新入会員が楽しく
1年を過ごせるように、頑張って会員拡大に努めたいと思います。

委員会の事業としては、今年は婚活事業を考えています。四国中央市では人口減少が大きな問題と
なっています。なぜ、人口が減少していくのでしょうか？それは、高齢化が進み子供たちが減っている
からです。その子供が減っていくのを、少しでもストップできればと思い婚活事業を開きます。
独身の方、生涯のパートナー探しましょう。

会員拡大といえば、新入会員の勧誘が大きな仕事と言えます。限られた歳の中でコンスタントに
勧誘しないといけません。しかし、勧誘するにも、1人の情報では限りがあります。そこで、皆さんの
経験豊富な情報源を委員会に貸していただき法皇青年会議所全体で大きな「人の和」になるように、
会員拡大を頑張ります。

向合う

ふくだ けい
青少年まちづくり委員会委員長 **福田 慶**



本年度、青少年まちづくり委員会の委員長を務めます福田慶と申します。
本年度の青少年まちづくり委員会の事業としまして、「青少年向け職業
紹介事業」や「第4回学童軟式野球大会」など子供達を対象とした事業
ばかりとなっています。

四国中央市の未来の為に、今何が出来るのかを考えた時に子供達に四国中央市の魅力を伝え
大人になっても思い出に残るような事業を行いたいと思い、あえて子供達にスポットをあて法皇
青年会議所全体で子供達と向合っているような事業を展開していきます。

「青少年向け職業紹介事業」では市・企業様に協力していただき、子供達に自分の将来について
少しでも考えてもらい、地元にある企業を知ってもらいたいと思っています。

「第4回学童軟式野球大会」では、スポーツを通じて仲間との思い出作りや心身の向上に
役立てればと思います。

子供達に何かを伝えるには、メンバー全員で子供達や事業に本気で向合っていく事が大切だと
考え、1年間一生懸命向合っていきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

出向者紹介

出向者として

愛媛ブロック 愛媛のリーダー育成委員会委員長 すずき まさひで 鈴木 正秀



本年度、日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会愛媛のリーダー育成委員会委員長として出向させていただきます、鈴木正秀です。今回で愛媛ブロックへの出向は4回目となりますが、委員長としての出向は今までとは違い、多くの経験や学びを感じています。

予定者段階から含めてまだ4か月程度しか経過していないものの、愛媛ブロック協議会での役員会、会員会議所は緊張感のある大変厳しく、また多くの経験を得ることのできる会議だと感じています。

愛媛のリーダー育成委員会では、主に会員拡大に関する事業、U-11少年少女サッカー大会の開催をいたします。会員拡大に関しては、日本青年会議所が掲げる2%の会員増加に向けて愛媛ブロック協議会として何をすべきかを考え、セミナーの開催などを通して各地会員会議所の皆様と連携を図り、情報共有をしていく活動をして参ります。

また、U-11少年少女サッカー大会愛媛県予選の開催は本年で3年目となります。各地会員会議所の皆様や関係諸団体と連携して地域の未来の為により良い大会を構築いたします。

法皇青年会議所LOMメンバーの皆様に、愛媛ブロック協議会で行われる運動を少しでも展開して行けるよう、精一杯邁進してまいります。

1月～2月活動報告

- ★1月 4日(水) 賀詞交換会
- 7日(土) 紙初市
- 12日(木) 市長訪問
- 19~22日 京都会議
- 26日(木) 例会・総会

- ★2月 5日(日) 四国地区協議会
- 11日(土) 愛媛ブロック協議会
- 13日(月) 第一エリア合同公式訪問例会



ホームページに写真掲載しています

新入会員紹介

住友生命保険相互会社 みやざき かおり **宮崎 香織**(34歳)



皆様こんにちは。住友生命保険相互会社 宇摩支部の宮崎香織と申します。昭和58年3月25日生まれ、四国中央三島で生まれ、漁師の娘として育ち、現在はシングルマザーで娘1人と毎日楽しく過ごしています。

仕事もプライベートも活動的で、基本的にじっとしているのが嫌いです。人との交流も大好きで、春にはお花見、夏には30人でバーベキュー、秋はお祭りの手伝いや、冬にはスノーボード等、いつも色々な人を集めて幅広く交流を深め、周りの方々と楽しむことが好きです。7年間携帯会社に勤務し、店長を勤めさせていただきました。良い部下にも恵まれ、充実した日々を送っていましたが結婚と出産をきっかけに退社。その後は家庭に入り主婦として過ごしていましたが、やはり家でじっとしているのは性に合わず、子どもの成長もあり、周りにあまり負担をかけずに働ける仕事を探し、市役所に就職。観光交流課で色々なイベントの企画や運営を担当させていただきました。仕事をしていく中で、もっと上を目指したいという思いから、現在の仕事に転職。日々忙しいですが、楽しく充実した毎日を送っています。

私がJCに入ろうと決意したのは、私より経験の豊富な人たちに会うことで、自分の知らない世界や知識等、たくさんのことを勉強し、吸収し、スキルアップにつなげていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

株式会社四国中央キャリア よこうち ひろゆき **横内 博之**(35歳)



皆様こんにちは。株式会社四国中央キャリアの横内博之と申します。昭和57年8月18日生まれ、三島高校の出身で、現在は2児の父親をしております。趣味はアウトドア、スポーツ、旅行などで、夏場は素潜りでアワビを採ったり、モリで魚を突いたり、ヨットで風を感じたりと、海を満喫している人間です。

これまで、リクルートで求人広告の営業職・営業チーフ職を経験し、8年間で約1,500社の採用活動に携わってきました。その後、人事コンサルタントの会社でコンサルタント職として経験を積み、2016年1月地元四国中央市を人財領域から活性化していくことを志し、今の会社を立ち上げました。事業内容としては、採用支援事、人事評価制度構築・運用事業、人財紹介事業、大学生向けのキャリア教育事業(講師)などを行っております。

私がJCに入ろうと決意したのは、昨年行っていた「企業見学ツアー」がきっかけです。あのような意義深い事業を通じて、四国中央市の未来を担う子ども達に少しでも良い影響を与えていきたいという熱い思いを持っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

CROSS

-現役メンバーとシニアクラブを紹介-

FROM 現役メンバー

こんなメンバーいます!まだまだ知らない一面を知りたい

『花粉に負けない体を作ろう』

鈴木君は研修委員会副委員長として今年度は活躍されています。

2015年度入会 すずき 鈴木 けん 健



こんにちは。鈴木薬局の鈴木健と申します。「漢方薬って長く飲まないと効かないんでしょ?」よく聞かれる質問ですが実はそんなことないんです。漢方薬は即効性のあるものも多くあります。

例えばこれからの季節に多い「花粉症と漢方」について書かせていただきます。花粉症は同じ量の花粉を取り込んでも症状が出る人とそうでない人がいますよね?その違いは何なのでしょう?漢方的には花粉症は「水毒」と呼ばれます。鼻水、涙、くしゃみ全て「水」を外に出そうとしている症状ですよ。つまり花粉症とは体の中の余った水分(水毒)を体が追い出そうとしているだけなんです。水分を取り過ぎたり、甘いものの取り過ぎたり、ストレスなど溜っていませんか?こういう事が体に水分を溜めやすくするんです。

花粉症を改善していくのに2つのポイントがあります。1つはあったか〜いお風呂にゆっくり入ると鼻づまりがスーッと通りますよね。これでもわかるように身体を温めてやる事です。これには身体を温めながら鼻を通してくれる「葛根湯加川芎辛夷(かっこんとうかせんきゅうしんい)」という漢方薬を使います。鼻水より鼻づまりが気になる方へお勧めです。

もう1つは体に溜まって鼻や喉、目から出てしまっている水分を汗や尿としてちゃんと外に出してやる事です。これには水分代謝を良くして症状を和らげてくれる「小青竜湯(しょうせいりゅうとう)」という漢方を使います。水っぽい鼻水が続くような方にお勧めです。

これだけでなく症状や体質によって1人ひとりにピッタリ合う様に、使う漢方が違うのがスゴイところです。つらい症状をとる事はもちろん大切ですが、症状をとりながらも体に水分を溜め込まない体を作る事、日頃の養生で花粉症に負けない体作りをする事が大切です。また、漢方では冬の病気は夏から治療するという「冬病夏治(とうびょうかち)」と言う言葉があります。花粉症の時期だけでなく普段から漢方薬を取り入れて体質改善をしておくこと次の花粉症シーズンは随分楽に過ごせますよ。

FROM シニアクラブ

尾藤建設株式会社 代表取締役社長 びとう じゅんいち 尾藤 淳一

私は、1963年(昭和38年)11月13日川之江町に生まれました。川之江幼稚園から川之江高校まで地元で過ごし、大学は武蔵工業大学(現:東京都市大学)を出ました。卒業後、鹿島建設(株)に4年間お世話になり、その後尾藤建設(株)に入り、2007年4代目代表取締役社長に就任いたしました。

プライベートでは、1991年に結婚をし、3人子供をもうけました。10年ほど前より健康管理のためにジョギングを始め、フルマラソン大会に16回出場しました。

1992年川之江青年会議所に入会し、1997年に川之江JC最後の理事長をおおせつかりました。当時は、法皇JCの立ち上げで、毎夜会議を重ねていたのを懐かしく思います。

■会社紹介

1927年(昭和2年)に祖父尾藤政勝が、大工工事業として尾藤組を創業します。1957年に法人化するとともに、尾藤建設(株)に名称変更しました。地元のお客様や官公庁の建築・土木工事全般を行っています。

■後輩の皆さんへ

私は今53歳で、青年会議所に在籍した12年間よりすでに長い年月が過ぎてしまいました。あの当時、熱く地域の進む道について議論し、行動したことは貴重な経験でした。そして何にも変えがたい友を得ることも出来ました。現役の皆様には、限られた青春の時間に精一杯のエネルギーを燃やして、多くの経験と友を得られることをお祈りいたします。私もまだまだ現役に負けず、青春を楽しみたいと思います。

これからの予定

★3月26日(日) 3月度例会(お花見)

★5月26日(金) 5月度例会

★4月 1日(土) 県じゃが春季大会(法皇)

★6月25日(日) 愛媛ブロック大会(八幡浜)

★5月13日(土) セミナー婚活(自分磨き×婚活)

★6月26日(月) 6月度例会

ご協力どうもありがとうございました

作成編集:広報委員会【委員長:加地彩子】

今村真知子、橋本賢蔵、窪田佑輔、合田武史、鈴木太郎、曾我部達也、中西知足、中村英悟、三好宏和、毛利治正

ホームページ <http://www.hohoh-jc.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/hohoh.jc/>

ブログ <http://ameblo.jp/hohohriji/>